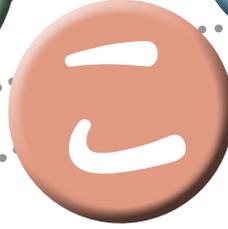


スマイル



特集

枚方公済病院における肝炎、 肝臓の診断・治療の現状について

CEのつぶやき／連携医療機関紹介／エキスパートナース／BLS活動／
院長のひとり言／「旬」なお話

枚方公済病院における肝炎／ 肝臓の診断・治療の現状について

枚方公済病院では2012年秋から日本肝臓学会肝臓専門医2名による肝炎／肝臓診療を開始しております。腹部エコーなどの診断・治療に必須の機器を新たに購入し、コメディカルの教育も行いながら、地域の皆様の連携と協力を得ましておかげさまで順調に軌道に乗ることができました。これからも地域の皆様のニーズに丁寧な説明と最先端の治療で答えてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

肝臓診療について

肝臓による死亡者数は年間3万3千人いるとされており、西日本で多く、中でも大阪府は肝臓の多発地域です。

肝臓治療には外科的切除・肝移植・肝動脈塞栓術 TACE・ラジオ波焼灼術 RFA・エタノール注入療法 PEIT・肝動注リザーバー治療・ソラフェニブ内服抗がん剤治療・緩和治療といった様々な治療法があります。肝臓の大きさ・場所・個数・肝予備能などから単独または併用により治療を行うこととなりますが、肝臓診療ガイドラインに沿って最善の治療法を提示して治療に取り組んでおります。治療件数(表1)をこれまで行ってありますが、局所治療を選択した例では100%の局所治療制御成績を残しています。

肝臓診断については DynamicCT や EOB-MRI の他に、腎障害があっても検査できる腹部造影エコー検査



肝生検

CEの つぶやき



パルスオキシメーター

こちらのコーナーを担当させていただくことになりました臨床工学技士の木戸です。ここでは臨床 ME 専門認定士の立場から当院の機器の紹介や医療機器に関する情報をつぶやきたいと思います。

記念すべき第一回は皆さんが一度は目にしたことがあるパルスオキシメーターにしたいと思います。パルスオキシメーターは指に装着するだけで動脈血酸素飽和度を測定できる便利な機器です。実際に動脈血を測定する

SaO₂ に対して SpO₂ と表記されますが、その精度は高く、現在の医療ではなくてはならない存在となっています。

技術が進歩し、近年では一体型と呼ばれる機種も出てきました。従来は本体とプローブが別でしたが、本体とプローブが一体となったタイプです。小型で軽く携帯性に優れます。機械類は接続部が壊れることが多いですが、一体型は接続部が少なく故障しにくい印象があります。

を行うことで早期診断に努めています。当施設では腹部エコー件数は年間 2356 例、ドック 1347 例、造影エコー 70 例行っています。超音波専門医 1 名と腹部超音波検査技師 5 名と生理検査室検査技師 4 名で行い、週 1 回の腹部エコーカンファランスも行いレベルアップに努めています。

肝癌	計 28 患者のべ 35 病変	
治療法	肝切除	7 例
	RFA	7 例
	PEIT	5 例
	人工胸水穿刺治療	2 例
	TACE	19 例
	肝動注リザーバー治療	2 例
	ソラフェニブ内服治療	4 例
	緩和治療	20 例

表 1

肝炎診療について

C 型肝炎、B 型肝炎は平成 20 年度から開始となっている医療費助成制度を利用しながら最新の肝炎治療ガイドラインに沿ってインターフェロンと抗ウイルス剤の治療を行っています。



PEIT

パルスオキシメーターを使用する際に注意したいのは正確に測定できているかです。まずは拍動の検出を確認します。モニタリングの際、波形を表示していないことが稀にありますが、波形を確認しなければ正確に測定できているか分かりません。数値が出ているから大丈夫という訳ではありません。また、抹消の循環が悪く拍動を検出するのが困難な場合は手指を温めたり、耳用や前額用のプローブを使用するなどの工夫が必要です。



肝動脈塞栓術 TACE

C 型肝炎に対する 3 剤併用療法 (Peg-IFN α 2b+Ribavirin+Telaprevir) については当施設皮膚科の協力のもと治療機関として稼働しており、ALT 31 IU/L 以上の 75 歳以下の慢性 C 型肝炎患者さまを対象にインターフェロンの導入をこれまでに 7 例行っています。B 型肝炎についてはエンテカビル導入 18 例、インターフェロン導入 2 例行っており、免疫抑制・化学療法により再活性化する B 型肝炎対策にも取り組んでいます。その他の原因で起こる肝炎に非アルコール性脂肪性肝炎 NASH、原発性胆汁性肝硬変 PBC、自己免疫性肝炎 AIH、薬剤性などがありますが、当施設は NASH 治験の参加施設であり (4 例登録済)、PBC は難病指定特定疾患で

すし、AIH は早期診断・治療介入により進行が抑えられる肝炎ということもあり、原因不明のものも含めて診断のために積極的に肝生検を行っています (年間 20 例施行)。慢性肝炎は自覚症状がないためキャリアー患者も含めると相当数未受診者がおられると考えられます。肝癌予防のためにも地域の皆様への啓蒙活動にも今後取り組んでいきたいと思っております。



消化器内科

青木 信裕

パルスオキシメーターは光を用いて測定するので、マニキュアなど光を障害するようなものがあると測定できなったり、誤差が生じる原因となります。逆に光が入り込むことがあっても誤差を生じます。意外な要因としては一酸化炭素中毒です。パルスオキシメーターでは酸化 Hb の割合を測定していますが、一酸化炭素 Hb など異常 Hb は測定できませんので誤差が生じます。前述のとおり酸化 Hb の割合を測定しているだけなので、貧血がある

と SpO2 が問題なくても酸素が足りていないこともあります。単純な機械なので油断しがちですが、特徴を知り安全に使用したいものです。

臨床工学技士 木戸 悠人

血管内科を 新設しました。

食生活の欧米化とともに日本人の動脈硬化性疾患も増加の一途をたどっております。このたび、血管内科の開設に伴い、毎週木曜午前に動脈硬化スクリーニング（予約外来）の外来を設けさせていただきました。



血管内科
尾崎 全晃

頸動脈エコー：頸動脈の内膜肥厚や狭窄度のチェック

胸腹部単純 CT：胸部大動脈瘤および腹部大動脈瘤のチェック

（同時に肺癌、肺気腫、腹部主要性病変などの有無）

ABI（血管年齢測定、動脈硬化測定）：血管年齢および ASO の有無のチェック

上記を基本のセットとして当日に外来にて結果説明と、情報提供させていただきます。

高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙などのリスクをお持ちの通院患者さまは動脈硬化リスクを有する患者さまですが、どうしても個別に検査することは煩わしく、また、見逃されがちです。総合病院としての当院の性質を活かして、地域の先生方のお役にたてればと願っております。

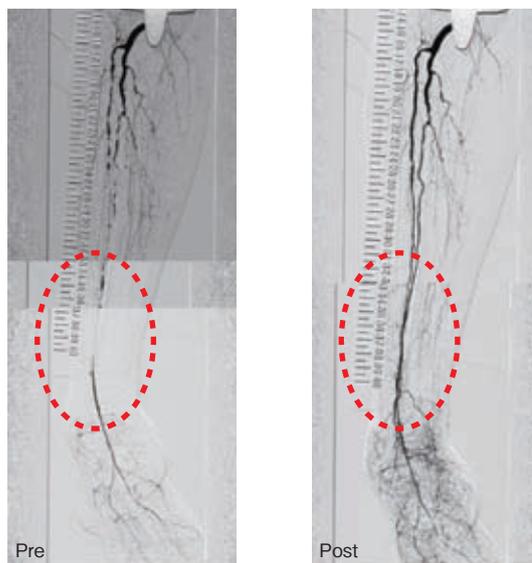
当地域の ASO 患者さまのカテーテル治療の中心となって、努力させていただきたいと願っております。

ステント治療は技術の進歩が著しく、腸骨動脈領域ではバイパス手術同様の長期成績で大腿動脈領域でも劣らぬ成績、かつ、来年から冠動脈同様に薬剤溶出型ステントが使用可能となります。

バイパス手術と比較して早期退院が特徴です。

当科では難易度の高い慢性閉塞の ASO でも高い血行再建率（手術成功率）です。

対象となる患者さまがいらっしゃればご紹介の程、よろしくお願いいたします。



下腿の ASO（重症虚血肢）



PTA（血行再建術）

上記の動脈硬化スクリーニングに加えて、従来通り、ASO、深部静脈血栓症などの動脈・静脈疾患を疾患を中心に対応させていただいております。

うめもとクリニック

☑ 開業のきっかけ

大学病院を辞めて5年目に開業を決心しました。
きっかけは、いろいろな巡り合わせや縁に導かれてということでしょうか。
紆余曲折はありましたが、決心して1年後に開業しました。

☑ 毎日の診療に心がけていること

1人1人にオーダーメイドな最善の診療をこころがけること。
(専門診療などに際して)的確なゲートキーパーの役割を果たすこと。
介護も含めた『よろず相談所、情報提供所』となること。

☑ 趣味

月並みですが、読書(最近では百田尚樹、桜木柴乃ファンです)、映画(最近観た映画の中では、『舟を編む』が良かったですね)、古都散策(浄瑠璃寺と秋篠寺が好きです)。

☑ 枚方公済病院について

軽症から重症までいろいろな時間帯で、無理無茶をお願いしており恐縮しております。
当院からの投球を確実に受け止めていただける頼りになる存在です。
いつもお世話になっておりありがとうございます。
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



うめもとクリニック 院長 梅本 真三夫先生

所在地: 〒573-0117 大阪府枚方市杉3-15-1
☎ 072-859-7775

診療科目: 内科、呼吸器科、循環器科

連携医療機関紹介



このコーナーでは連携医の先生方をご紹介していきます。

寺嶋クリニック

☑ 開業のきっかけ

平成9年11月、祖父から託された夢を実現する形で藤阪元町の地に内科クリニックを開院致しました。内科疾患全般を対象に診療していますが、特に循環器疾患を専門としており、学位論文は肥大型心筋症の冠循環に関するものです。

☑ 毎日の診療に心がけていること

病状説明はできるだけ詳しく行うように努力していますが、一方患者さんに過重な不安感を与えないようにも注意しています。疾患の治療だけでなく患者さん自身が元気になることを目標に日々診療に取り組んでいます。

☑ 趣味

趣味はテニスですが、肘を痛めてしまい、現在はもっぱら観戦専門です。いつかウィンブルドンを観に行きたいと夢見ています。

☑ 枚方公済病院について

枚方公済病院では幅広い分野において医療レベルの高い専門的治療が可能である上に、救急医療においてもその機動力が卓越しており、開業医にとってはとても頼りになる病院です。そして、病院の窓口となる地域医療連携室が大変うまく機能していることもとても助かっております。
近々新病棟が完成すると伺っており、大変楽しみにしています。
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



寺嶋クリニック 院長 寺嶋 知史先生

所在地: 〒573-0157 大阪府枚方市藤阪元町3-20-1
☎ 072-864-2533

診療科目: 内科、循環器内科、胃腸内科

エキスパートス

病院では、様々な専門職種が連携し合い、協力し合って医療を提供しています。そうした医療チームの中で一番の大本営は、おそらく看護部と考えて間違いありません。このコーナーでは、そんな看護師の活動やニュースを主に取り扱います。

今号では、上述の藪内晃子看護師に行ったインタビューを掲載します。インタビュアーは、消化器内科・外科病棟に勤務する看護師の小川です。

小川 個人的な興味で恐縮ですが、なぜ認定看護師になろうと思われたか尋ねる前に、なぜ看護師になろうと思われたのかお尋ねしても良いでしょうか？

藪内 きっかけは、幼い頃から看護師は良い職業だよ、一生働けると祖母に薦められてきたことでしょうか。そんなに素晴らしいのかな、と(笑)

小川 それは、また。お祖母さまには、なにか看護師に対して思い入れがおありだったのでしょか。

藪内 農家をしていた祖母は、職業婦人という肩書きに憧れがあったのかも知れません。

小川 では、そうして看護師になられて、なぜ感染管理認定看護師に？

藪内 感染委員を長くしていたこともあります。さらにH24年の診療報酬制度の改定で感染防止対策関連項目の評価が高まるだろうということが予測

看護師のより専門的な資格といえば、専門看護師と認定看護師という1996年に設立された認定制度があります。

1999年ごろ人気を博したテレビドラマ「救命病棟24時」で救急看護の認定看護師が登場し、近年では一般にもその存在が知られるようになりました。

認定看護師とは、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、現在その専門領域は21分野に及びます。

当院でも、救急看護、慢性心不全看護、集中ケア、感染管理の4領域に1人ずつ、計4名の認定看護師が活躍しています。

なお、本年度からはエキスパートスタッフ室が設置され、感染管理認定看護師の藪内晃子看護師が専任者として常駐しており、認定看護師への相談窓口が明確になりました。

されていて、感染管理認定看護師の資格を取らないかという誘いがあったことが、感染管理認定看護師を目指した大きな理由でした。お金の話になりますが(笑)感染防止対策加算を取ることが出来るのと出来ないのでは、大きく違ってきます。

小川 病院も収入があってこそ、質の高い医療を提供し続けることが適うわけですから、大切なことですね。感染管理認定看護師として今行っていることや、力を入れていこうとお考えのところはどんなところでしょうか。

藪内 発熱、下痢、嘔吐といった症状別サーベイランスを行っています。もともと血液内科や循環器科で勤めていたので、認定看護師の研修を受けているときには血液感染(BSI)サーベイランスを主にしたいと考えていました。

小川 認定看護師として活動する中で、悩みも多いことかと思いますが如何でしょうか。

藪内 そうですね、感染が成立するか否かは確率の問題です。たとえば、MRSAが感染しないように保菌して

いる人を全て隔離するとなると設備的に無理が出てきます。例に挙げたMRSAには隔離の基準がありますが、感染症が疑わしいけれど確証はないといった場合は、より悩ましいです。ですから、感染の成立を防ぐ意味では、何より標準予防策を徹底して行う必要があると考えています。手指消毒のタイミング、手袋やマスクをする意味を意識することが大切だと思います。

小川 私自身、普段マスクをつけっぱなしです。何のためのマスクなのかと改めて問われると、自分の喉の乾燥を防ぐためというだけで、感染対策としての正しいマスクの使い方ではないことに気付かされました。ありがとうございました。

看護師 小川 誉世



枚方市を助かる街に

臨床検査技師 藪内 です。

地域にBLS(心肺蘇生)を普及させたいと、6年前から活動しています。今思えば6年前の講習はヘタクソだったな—と思います。緊張しながら言いたいことも伝えられず、説明もわかりにくかったように思います。(最近ではマシになってきたようです…) 当時は大人の方を対象に近隣の医療機関や企業に出向いて講習をしていましたが、ある時をきっかけに『子供に教えることが救命率の向上に繋がる』と考えました。今では小学校5,6年生を

対象に授業で心肺蘇生講習をしています。

心肺停止患者の社会復帰には発見者(市民、家族)によるBLSが不可欠であり最重要課題であります。倒れてから5分以内に誰かが胸骨圧迫をしなければ助かりません。心原性心停止は年間6万人を超え、その半数は30-50代です。現在の社会復帰率は1割と極めて低いですが目撃者による胸骨圧迫で2倍、AED使用で4倍の命が助かると言われています。自宅での発生率が7割を超えとのデータもあることから、助け合える家



枚方公済病院院長
野原 隆司

私は医師に「第六感以外はすべて使って診察しろ」と伝えている。糖尿病が尿の甘さから理解されたことで、味覚を・・・なんてことは言わないけれど、視覚、聴覚、嗅覚、触覚、は大切な診察器具である。私が循環器であることから聴診は極めて大切にしている。しかし最近聴診器を使わない医師が増えたせい、聴診器を当てようとすると、怪訝な顔をする患者さんがいる。それどころか軽犯罪者を見る目つきすらある。そうなるこちらも何となく引いてしまい「見せてくれますか」という声がよからぬ響きになる。外来師長と組んでいると手助けしてくれるのでそれはないが「見せ

るほどのものではないけれど」と患者さんに言われると「聴くだけです」と即答しないとやはり後ろめたい。聴診の威力は相当なもので、心臓エコーに行く前には診断がつけられる。心機能についても予想は出せる。経験者の鼻が高くなる時間である。しかし、この状態、この訴えではこの音があるはずだと踏んでかかることも重要である。チューンインという。音の聴取に精神集中することも重要である。長く聞きすぎると聴覚は疲れやすい。しかし、いつも聴いている患者に2～3秒長く当てたりすると「今日は何か悪いですか?」と必ず問われる。前日の酒が残っているだけなのに。

旬なお話

管理栄養士
原 智恵

vol.1

ここでは、食や栄養に関わる旬なお話をしたいと思います。今回は・・・

土用の丑の日

についてです。



うなぎの栄養素

体の抵抗力を高めるビタミンAやビタミンAの吸収を高める資質。

その他、ビタミンB1、B2、E、D、カルシウム、カリウム、鉄、亜鉛などもバランスよく含まれた食材です。

また、DHAやEPAなどの不飽和脂肪酸なども多く含みます。

これらは、動脈硬化などの生活習慣病の予防も期待できます。

Q

土用の丑の日にうなぎを食べると栄養が付き、暑い夏を乗り切るのに良いとされる習慣がありますが、これは何故でしょうか？

A

今の様に鰻を食べる習慣が一般化したきっかけは、江戸時代の蘭学者平賀源内が、夏場にうなぎが売れないと知人のうなぎ屋に相談され、「本日、丑の日」と書いて店先に張り出したところ、大繁盛したことが一般的に有名な説の様です。万葉集の伴家持の和歌には、「うなぎを食べえ健康を維持しよう」といった内容の物があり、当時言葉自体は存在しませんでした。土用の丑の日の頃をさしている為、古くからの言い伝えなどと共に、「土用の丑の日にうなぎを食べると夏バテせずに、暑い夏を乗り切ることが出来る」という風習が伝えられているようです。

ちなみに、今年の土用の丑の日は**7月22日**と**8月3日**です。

族、地域を作ることが望まれます。施設内でスタッフのスキルアップを行うだけでは市民の社会復帰率が劇的に向上することは無いと思っています。

枚方の全小学校（45校）を毎年まわり、小学生に助ける技術と心を身につけてもらい、大人へも広がることを期待しています。救急隊や医療機関のスタッフ、学校教員、市民ボランティア…沢山の人が関わって活動できるチームを枚方市で作りたいと考えています。

子供たちに講習していると元気がもらえます。普段のストレス解消にもなっているような気がします。「医療機関同士のコミュニケーションの場」として「研修医の地域医療の項目でぜひ!!」などなどいかがでしょうか。

『助かる街 枚方』をつくりませんか〜と大声で叫んでいます…

単なるビッグマウスにならないように頑張りますので、ご協力をお願いいたします。

臨床検査技師 数 圭介



編集後記

創刊にあたり一言申し上げます。なんとか創刊に漕ぎ着けることができました。タイトルがなかなか決まらず、院長に「うーん、もう一声だなー」と駄目だしされている時は無理かも？と思っていましたが、職員と編集委員の感性あふれる「ひらめき」で今日を迎えることができました。まず彼らにお礼を言います。

そして読んでくださったみなさまには、ありきたりですが、今後はみなさまの情報源となるような記事を掲載していきたいと考えています。ご意見ご感想をお聞かせいただけたら幸いです。今後とも末永くよろしくお願い申し上げます。

企画課 徳田 裕美子



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093
<http://kkh-hirakoh.org/>